



研修医日記

作成者：梅木 香歩（2年次）

こんにちは。ついに最後の日記となってしまいました。感慨深いです。

4月からは小児科医となり、住み慣れたむつ市を出ることになります。新たな場所で、新たな立場として働くことに、わくわくとドキドキと不安とで私の心は忙しいこの頃です。

現在は2回目の小児科ローテーション中です。3年目になる準備として小児科の外来や病棟の診療に関わっていると、細かいところも含めてわからないことが毎日たくさん見付き、勉強に励んでおります。また、小児科では病気をみるだけでなく、その子の成長をみることができるのが、醍醐味だなと感じます。こどもたちの成長をときどきお手伝いしながら見守っていく、小児科医ってやっぱり良いよなあと、しみじみ…。たくさんの試練が待っているとは思いますが、引き続き一生懸命頑張っていきたいです。

2年間のむつ総合病院での研修がもうすぐ終わろうとしています。たくさんの方々に感謝の言葉を伝えたいです。同期も皆優しくてまじめで良い人たちで恵まれました、ありがとう。尊敬する先輩も多かったですし、後輩も頑張り屋さんが多く、一緒に研修できて良かったです。また、各科の先生方やメディカルスタッフの皆様、ご迷惑をおかけすることも多々ありましたが、温かく、ときには厳しくご指導くださり、とても感謝しております。ありがとうございました。

画像がないのもさみしいので、年明けに描いていた、流行りの「鬼滅の刃」のイラストを載せておきます（せっかくなので、途中の経過もあわせて）。炭次郎の目が離れてしまったのがちょっと失敗ですが…。

それでは、またどこかで。ありがとうございました。心を燃やして頑張ります。



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。